

新型コロナウイルス感染症による延期開催

令和3年9月1日に開催を予定しておりましたが、2月に延期しましたので、すでにお申込みいただいた方に追加して、再募集を行います。

介護・福祉サービスの質の向上と職場風土作りをめざす

業務の標準化研修

主催：社会福祉法人 高知県社会福祉協議会／高知県福祉研修センター

仕事に就いているということは“さまざまなルールの中で働いている”ことを意味します。それらのルールは仕事を安定的に進めるための“最低限に必要なもの”であり、そのルールが職員一人ひとりに身に着き、職場の中で定着しているとすれば、組織の風土として活かされているといえます。たとえば交代勤務で職員が替わっても業務の「連続性」や「一貫性」が保たれ、ルールが守られないために起こる事故は減少するようになってきます。「職場の(仕事の)ルール」を浸透させることにより、職員の業務に対する理解を深め、事故を未然に防ぎつつ、利用者の満足度を上げながら、職場を働きやすくすることにつながっていくと考えることができます。

「業務の標準化」は、利用者一人ひとりに対する介護・福祉サービスの質を確保し、「個別支援のベース」となる“仕事の手順”や“仕事の質の基準”を明確にするものです。業務が標準化されているからこそ、個別の状況に合わせた工夫や、職員の指導・育成（能力開発）を効果的に進めることが可能になります。今回の研修会では業務を標準化することの意味と効果、手順書（マニュアル）の整備の仕方、手順書づくりによる利用者サービスの質の向上の実現とその活動を通じた職場の活性化等を、講義と演習で具体的に学んでいただきます。



なお、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、開催時間の短縮やプログラムの変更を行う場合がありますのであらかじめご承知おきください。

- ◆参加対象 福祉施設・事業所の管理職、指導的職員、マニュアル作成等の担当者
*本人の職種（介護職、支援職、事務職など）は問いません。
*管理職と指導職などのペアで参加していただくとより実践的な学びになります。
- ◆定員 50名（先着順）
- ◆日時 令和4年 2月18日（金） 10:00～16:30
- ◆会場 県立ふくし交流プラザ 5F 研修室A（高知市朝倉戊375-1）
- ◆講師 (株)エイデル研究所 人材育成支援部 主幹 社会福祉士 丹羽 勝氏
- ◆参加費 1名 5,000円
- ◆申込方法 別添の参加申込方法により、令和4年2月1日（火）までにお申込みください。
ただし、定員に達し次第締め切りますので、予めご了承ください。

（連絡先）社会福祉法人 高知県社会福祉協議会／高知県福祉研修センター（担当：中城・山本）

〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ（1F南）

TEL 088-844-3605 FAX 088-844-9443

研修日程

9:15～ 受付

10:00 開会・オリエンテーション（研修中は適宜休憩を入れます）

10:05 **セッション1** 「“業務の標準化”の意味とその実践手順」

（講義・ワークの主な内容）

- － 上質な利用者サービスを提供するために～心と頭と手を使って仕事をする
- － 業務の標準化はなぜ必要か～手順書整備とその活用について
- － 対人援助サービスにおける標準化と個別化の両立へ

▼ワーク：手順書作成例を使って、作り方・書き方のポイントを確認します

セッション2 「いい手順書とはどのようなものか」

（講義・ワークの主な内容）

- － “いい手順書”が持つポイント～仕事の成否を決める急所はどこにあるか
- － 手順書の作り方・書き方のポイント
- － 「標準化は職場の問題解決」と捉える～手順書は“最低水準を決める”もの

▼ワーク：手順化しなければならない業務は何か、なぜ必要かを書き出します

12:00 昼食休憩

13:00 **セッション3** 「手順書を作る」～職場で手順書整備するプロセスを学ぶ

（講義・ワークの主な内容）

- － “業務の標準化プロジェクト”を組織の活性化につなげる
- － 手順化しなければならない業務は何か～流れを書き出し、急所を確認する
- － 手順書を見直すことは「サービスの質を向上すること」に直結する

▼ワーク：今の仕事の流れを書き出し、急所を確認し、改善をイメージします

16:30 研修終了

【講師紹介】 ㈱エイデル研究所 人材育成支援部 主幹 社会福祉士 丹羽 勝 氏

企業での経験は研究・開発・製造・技術営業・海外営業・人事教育と多岐に亘り、さまざまな経験を積んできました。2003年エイデル研究所入社後、福祉経営支援、人材育成支援に関わってきました。自身の苦い就労経験や宇宙飛行士試験などの体験の中で得た気づきを紹介しながら進める研修は、多くの受講者の共感を得てきました。現在は主に介護・福祉・医療職場における指導職・管理職層の能力開発を進める一方、長期経営課題の明確化・組織風土作りのコンサルティングを行っています。特に力を入れているテーマとしては「現場の問題解決～問題発見力と解決力を身につける」「変革を進めるリーダーシップと必要とされるコンピテンシー」「自分で考え、判断し、考える人材作り」などです。また職員一人ひとりのキャリア教育にも力を入れており、豊かな職業人生に向けてどのように働いていくのか、実践経験と理論を織り交ぜながら研修や個別指導を行っています。2020年にオンライン研修＋通信添削＋個別面談で構成される「新しい学びの形」を作りました。導入した施設経営者・受講者から「研修効果が高い」と好評を得ており、13年続いている東京都社協チームマネジメント研修でも2021年度はこの方式を採用することになりました。全社協「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」講師。産業・組織心理学会会員。応用心理学会会員。日本福祉大学卒（2019年）。名古屋工業大学大学院修了（1982年）。

《新型コロナウイルス感染症に関する対応について》

- 研修時にはマスク着用にご協力ください。また、うがい・手洗いなど感染症予防にも努めていただくようお願いいたします。
- 隣席との座席間隔を空けた体制で行います。
- 会場内では、定期的な室内喚起を実施します。
- 受付または受講時の検温等の状況によって、受講をお断りする場合があります。

高知県福祉研修センター 山本・中城 行

【申込方法】

- F A Xでのお申込は、本申込書に必要事項を記入し、088-844-9443にこの面を送信してください。
- インターネットでお申し込みの場合は、下記 URL 又は二次元コードにてアクセスし、お申込み下さい。

<https://forms.gle/wF14JaHBF9XSMV7f7>



参加締め切り後、参加決定通知を送信しますが、F A Xでお申込みいただいた方はF A Xで、インターネットでお申込みいただいた方はEメールで送信いたします。
※お申込みいただきました氏名等の個人情報、本研修の管理運営にのみ使用します。

業務の標準化研修 受講申込書

法人・事業所名 _____

事業所種別 _____ 連絡担当者氏名 _____

TEL _____ () _____ FAX _____ () _____

参加者氏名等

No.	氏名 <small>ふりがな</small>	職種・職名	年齢	経験 年数
1				カ月
2				カ月
3				カ月

※年齢・経験年数は、令和4年2月1日現在にて記入ください。

申込締切 / 令和4年2月1日(火)